



第2号

平成30年6月8日

六ツ美中部小学校

## ～各学年で『絵を描く会』を開催中～



むずかしかったところは、屋根を作っているかわらの一枚一枚が大変でした。最後の色ぬりまで、ていねいに仕上げました。

ぼくは、小学校最後の絵をかく会で慈光寺に行きました。絵は、山門から見た本堂をかきました。工夫したところは、柱です。慈光寺は昔に作られたので、木の切れ目やきずがたくさんありました。時間がたった木目も工夫しました。

六年二組 織部 大地

各学年で、図工の時間を使ったり、日を決めて学区に出かけて行ったりして絵を描く会を進めています。六年生は、学区の慈光寺に出かけて行き、小学校最後の絵を描く会を行いました。

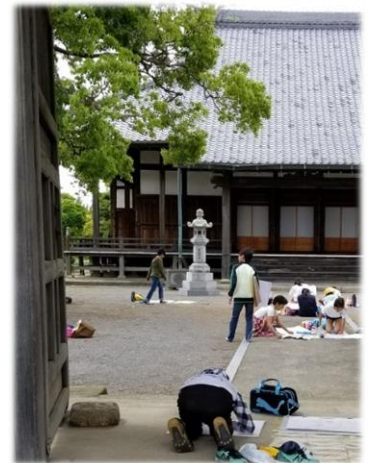
歴史を描く

ぼくは、絵をかく会でタンバリンを持っている友だちをかきました。顔をかくとき、目やかみの毛のこまかいところが、すぐにずれてしまつてむずかしかったです。工夫したところは手です。十回くらいかき直しました。指のしわまでかくと、指がにんじんみたいになりました。それから、つめと指先をしようすにかこうとがんばりました。タンバリンのまわりについているちびシンバルをかくのがおもしろかったです。



樂きを持つ友だち

三年一組 鎗田 青葉

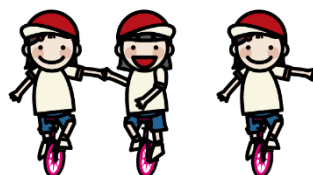


よく見てみると

四年一組 杉浦 玲南

今年の絵をかく会では、一輪車に乗っている友だちをかきました。三年生のときは、リコーダーをふいている友だちをかいたのですが、今年のほうがむずかしかったです。特にむずかしかったのは、まげているひざや服のしわでした。服のしわの部分は、かげのように見えたので、ほかのところよりも少しだけくっきり色をぬりました。ほかに、一輪車のさびやタイヤのこぼこなど、よく見てみるとおもしろいところもありました。くつ下の小さなもようも、気をつけてかきました。

来年は今年よりも集中して、こまかいところまでよく見てかいて、金賞をとれるようにがんばりたいと思います。



### 栄光の記録

紫陽花カップ 第二位

ソフトボール部



# 退任式

去る四月九日、お世話になった七名の先生方をお送りする、退任式を開きました。転任された先生方より温かいお言葉をいただきました。

大山 和久先生（御退職）

奇跡のように生まれてきた私  
奇跡のように生まれてきたあなた  
そして

奇跡のように出会ったわたしたち

中部小のみんなとの出会いは、私にとつて、とても大切な宝物です。みんな、みんな、ありがとう。これからのみんなの活躍を祈っています。



橋本 由美先生（六ツ美西部小へ）

三年間という短い間でしたが、大変お世話になりました。六ツ美中部小学校の素敵な子供たちと過ごした日々は、私の教員人生の宝となりました。四年生の総合学習では、菜の花学習、花壇作り、樹木札作りなど、充実した活動ができました。そのときの子供たちの真剣な姿が特に印象に残っています。

笑顔あふれるすばらしい子供たち、子供たちを支えてくださった学区の皆様感謝の気持ちでいっぱいです。幸せな三年間をありがとうございました。



近藤 義孝先生（御退職）

『岡崎に残る最後の桃源郷』

九年前、六ツ美中部小学校に赴任したとき、先輩の先生から聞いて印象に残った言葉です。

明るく素直な子供、温かい眼差しで見守ってくれた家族、いつも支援の光を惜しまず注いでくださった地域の方々、そして実り豊かな六ツ美の大地…まさに『桃源郷』でした。教員生活の千秋楽を六ツ美中部小学校で迎えられたことを何よりも幸せに感じます。この九年間で培った力を次のステージで生かすことが恩返しだと思い頑張っています。皆様もお元気で！



川澄 義晴先生（御退職）

「六ツ美」という地名の由来は、「睦」から来ていると聞いたことがあります。名前の由来の通り、

学校と地域の絆がとても強い地域でした。七年前、矢作の地での勤務が長かった私が、初めて川を越え、この地に足を踏み入れました。そんな私を、職員や地域の方々、子供たち、そして菜の花でいっぱいのメイン花壇が温かく迎えてくれたことが、昨日のように思い出されます。長い教員生活の最後を「六ツ美」の地で終えることができうれしく思います。



青木 麻紀先生（藤川小へ）

♪なのはなの  
さきさきて  
ゆきのほまれの  
ゆかしきところ

四年前の始業式。こんな美しい校歌をもつ学校があるのだ、と聞きほれたことが鮮やかに思い出されます。この歌詞のとおり、朗らかに美しく、そして学区の誉れそのものである子供たちでいっぱい六ツ美中部小学校。仲間に入れていただいた四年間、私自身を育てていただきました。本当にありがとうございました。



近藤 佳奈先生（本宿小へ）

教師として第一歩を踏み出したのが、ここ六ツ美中部小学校でした。あれから六年間、子供たちの明るい笑顔に励まされ、地域の方の温かさを感じながら、幸せな時間を過ごすことができました。

初めての教員生活を送った中部小は、私にとつて

「毎日通いたくなく学校」でした。

風に揺れる菜の花畑。

朝焼けの空にうっすら霧がかかった田圃の道。自然に恵まれ、人の温かさを感じるこの学区が大好きです。本当にありがとうございました。



大久保厚子先生（羽根小へ）

満開の菜の花に迎えられる、あつという間に一年が過ぎました。主に算数の少人数対応として高学年を担当させていただきました。算数の問題で悩んでいるときにヒントを出したら嬉しそうにうなずいた笑顔が忘れられません。その笑顔が私のエネルギーでした。ありがとうございました。

